

会議名	平成30年度第6回港区指定管理者選定委員会
開催日	平成30年10月22日（月） 午後4時15分から4時50分まで
委員	〔出席者〕 委員長：田中副区長 副委員長：浦田企画経営部長、北本総務部長 委員：大浦企画課長（区役所改革担当課長兼務）、荒川財政課長、湯川総務課長、吉田契約管財課長
出席所管課長	山越保育課長、西川保育・児童施設計画担当課長、上村麻布地区総合支所管理課長
事務局	企画担当（山田、中澤）
会議次第	1 開会 2 議題 （1）指定管理者の選定について ①元麻布保育園 3 閉会
配布資料	資料1 指定管理者候補者選定調書 資料1-2 指定管理者候補者選考委員会報告書 資料1-3 指定管理者応募者提案内容の比較表 資料1-4 職員配置表 資料1-5 選考委員会採点表 資料1-6 選考委員会議事録 資料1-7 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）
会議の結果及び主な発言	
保育課長	1 指定管理者の選定について ①元麻布保育園 （所管課長から指定管理者候補者選定調書等の説明）
委員長	説明は終わったので質疑に入る。
北本副委員長	一次審査と二次審査について、最終的に2位となった事業者について、二次審査では一番良かったが、一次審査の点数が響いているように見える。二次審査の意見を見るとかなりプラスな記載となっており、一次審査で言われていた抽象的な部分を払しょくできたようにも見えるが、実際はどうだったのか。
保育課長	その事業者については、一次の書類審査では大規模保育園の運営についての記載が弱かった。二次審査のプレゼンテーションの際には、医療的ケア児や障害児の部分を中心に質疑を行ったところで、実績もあり、この部分については長けていた。
北本副委員長	全体的に考えると、今回選考された事業者が良かったということか。

保育課長	<p>選考された事業者については、法人のグループ内の連携だけでなく、保育園の運営面でも園長候補者からも明確な回答があり、全体的なバランスがよかったと捉えている。</p>
湯川委員	<p>職員配置について、委員の意見を見ると不安要素に思えるが、確認はしているか。</p>
保育課長	<p>まず、送迎については実績があることから、同乗者を配置するという積極的な提案がされている。人員配置についても、プレゼンテーションにおける質疑の中で確認している。</p> <p>また、医療的ケア児、障害児に関しては、小児科医のバックアップ体制の確保と、小児科と病児保育施設で経験がある職員を配置することを確認している。</p> <p>選考委員会の議事録にもある。</p>
湯川委員	<p>職員配置に3者でばらつきがあるが、その要因は。</p>
保育課長	<p>最終的に3位となった事業者は、医療的ケア児の経験がないためかなり余裕を持った配置となっている。2位の事業者は、非常勤職員がかなり多くなっているが、これは、夜10時までの運営のために、非常勤を多く活用したいとのことだった。</p>
委員長	<p>選考された事業者の経費について、他の2者とかなり差があるが、この金額で大丈夫か。</p>
保育課長	<p>他の定員200人程度の保育園の経費と比較し、元麻布保育園の特殊性を勘案すると、妥当と言える。</p>
委員長	<p>職員配置について、区の想定を満たしているかということについては、どのように説明するのか。</p>
保育課長	<p>認可保育園の基準を基に、ローテーションも併せて確認した。</p>
委員長	<p>職員配置表の人数だけ見ると、事業者ごとに差がある。人件費にも大きく係ってくる部分なので、きちんと説明できるようにしておくこと。</p>
保育課長	<p>説明できるように補強する。</p>
委員長	<p>他になければ、了承とする。</p> <p>以上で、平成30年度第6回港区指定管理者選定委員会を終了する。</p>